

8/15

大阪府歯科保険医協会
発行人 志岐 敬
大阪市浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

2016年第1242号
(毎月5、15、25日発行)



特別対談

真田幸村

と

大坂の陣



時代小説家・歯科医師

上田 秀人

大阪城天守閣元館長

渡辺 武

戦国時代、最後にして最大の戦となった「大坂冬の陣・夏の陣」(1614~15年)。江戸幕府を開いた徳川家康にとって、豊臣家は目障りな存在だった。圧倒的な戦力で大坂に乗り込んだ家康をあと一步まで追い詰めたのが真田信繁(幸村)だった。

それから400年、この国の行方を左右した「大坂の陣」を見つめ直すとともに、今なお人を引き付けてやまない幸村の魅力について、大阪城天守閣元館長の渡辺武氏と歯科医師で時代小説家の上田秀人氏に対談してもらった。(4・5面)

わたなべ・たける 1937年、兵庫県生まれ。京都大学文学部卒。高槻高校教員を経て、62年に大阪城天守閣学芸員。92年、館長に就任。2000年、退職。主な著書に、『戦国のゲルニカ「大坂夏の陣 凶屏風一読み解き」(15年)、『大阪城話』(03年)、『大阪城秘ストーリー』(96年)、『豊臣秀吉を再発掘する』(同)など多数。

うえた・ひでと 1959年、大阪府生まれ。大阪歯科大学卒業後、八尾市内で開業。97年に小説クラブ新人賞佳作。2010年に『孤闘 立花宗茂』で中山義秀文学賞。14年に『奥右筆秘帳』シリーズで歴史時代作家クラブ賞シリーズ賞。他の著書に『御広敷用人 大奥記録』シリーズなど多数。現在は作家業に専念。

歯界

71年前の8月15日、多くの日本人から突然に魔法が

解けた。鬼畜米英と戦闘中だった兵士は武装解除が命じられ、女子どもたちは明日から防空壕を掘らなくてもよくなり、防空演習もなくなった。進駐軍は怖いけれど、彼らを相手に食物を入手する才覚のある日本人や、彼らの物資横流しで稼ぐ抜け目ないのも現れた。軍国日本は解体して民主主義になるという。その20年前に治安維持法と抱き合わせながらも、入手した普通選挙法は大正デモクラシーの成果だとしたら、戦後の民主主義はどう違つか。時代を経なければ分からない。言論は自由で親や教師も威張らない。爆撃も徴兵もないから多少の空腹さえ辛抱して大人しくしていれば、無事に暮らせような世の中に見えた。だが結構すぐめの世ではない。国民の代表である政権与党の議員がお手盛りの法制で自らを守りながら、一般社会ではどうい内容認されない公私混同の金銭感覚で品格の極悪状態にある。

お知らせ

本紙は、8月5日付・15日付の合併号です。協会は13~16日まで休務となります。